

世界観、生き方、人類の未来のための 根源的網羅思考と一体型矛盾

高原利生

takahara-t@m.ieice.org 2016.09

http://www.geocities.jp/takahara_t_ieice/

1 要約

1. 動物の生きるモデル 遺伝子を除く



2. 根源的網羅思考と矛盾による

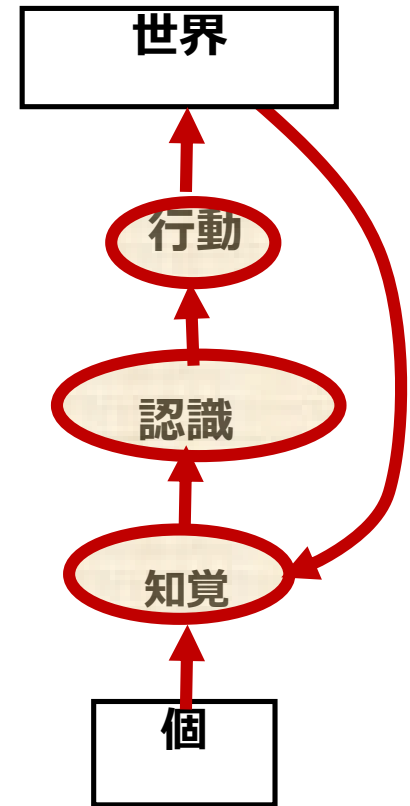
単純性とエネルギー基準の

今の人類の生きるモデル

p.10 根源的網羅思考:

ゼロベースで 基本概念により網羅的粒度を得る思考

3. 未来への道を探る



1. 準備：基本概念

概念	説明
オブジェクト	ある粒度で事実から知覚により切り取られる情報 =もの, 観念, その関係, それらの属性
粒度	空間的範囲、時間的範囲と属性
網羅	「抜け」の無いように全体を個々の要素で数え上げること

関係 → 運動

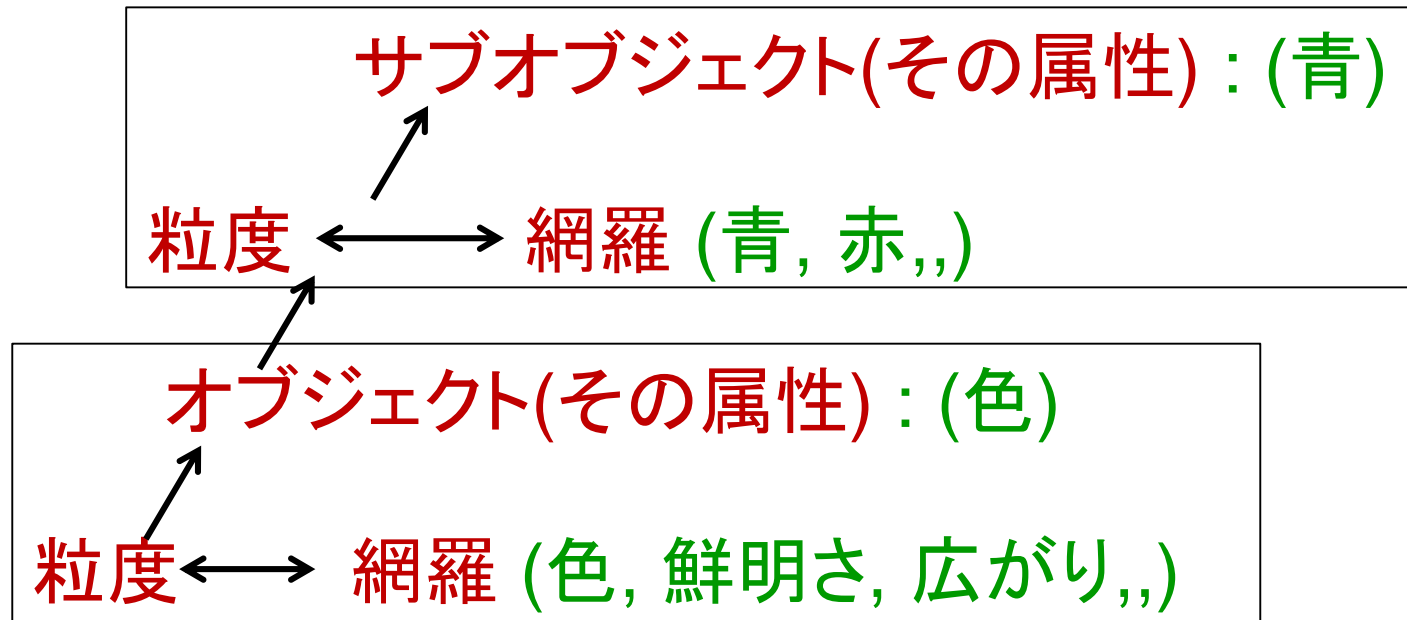
エネルギー

1.準備：粒度と網羅

時間と空間の属性は理解が易しい

属性の粒度：異なった色の百のボールがあるとする。全体を10種に分けるか別の色の100種に分けるかは、粒度による。[FIT2012]

日本では虹は7色である。多くの国では5色か6色である



2. 矛盾

C矛盾は世界の最小の近似単位。単に運動や関係の構造。
“項 1－関係－項 2”と表現される

矛盾	説明
差異解消矛盾	通常の変化、変更.
両立矛盾: CC	通常のもので二項を両立する 例: エンジンの大出力と軽量
(特別な) 両立矛盾: CU	二項がお互いを高めあう 例: 男と女, 目的と手段, 内容と形式, 単一性と多様性, 愛と自由, 一体化と対象化

3. 根源的網羅思考; RET

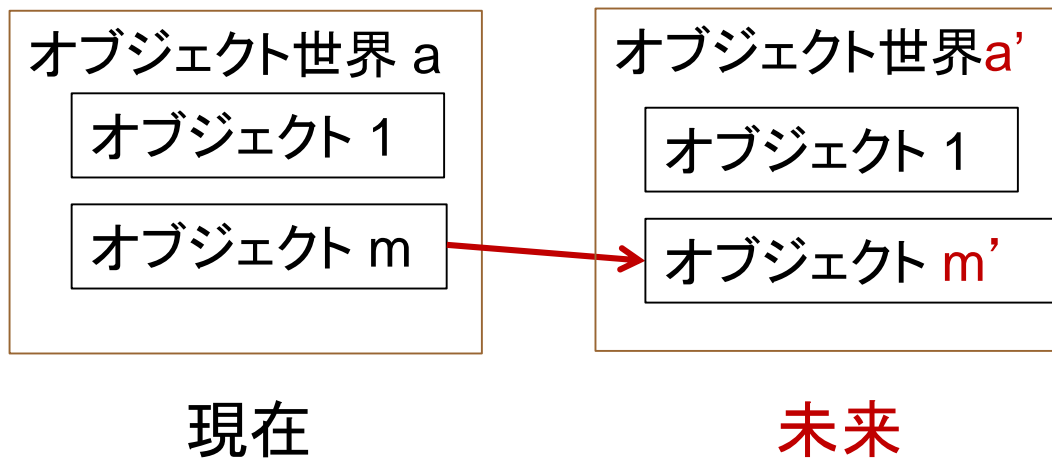
根源的網羅思考は、ゼロベースで **基本概念により網羅的粒度を得る思考**

31. それぞれの個々の問題の今ある事実の粒度を選び、必要ならそれを変更する

33. 過去から未来までの全世界の全ての事実の粒度を網羅し、必要なら事前にそれを変更する

RET 31

個々の問題の今ある事実の
粒度を選び、必要ならそれ
を変更

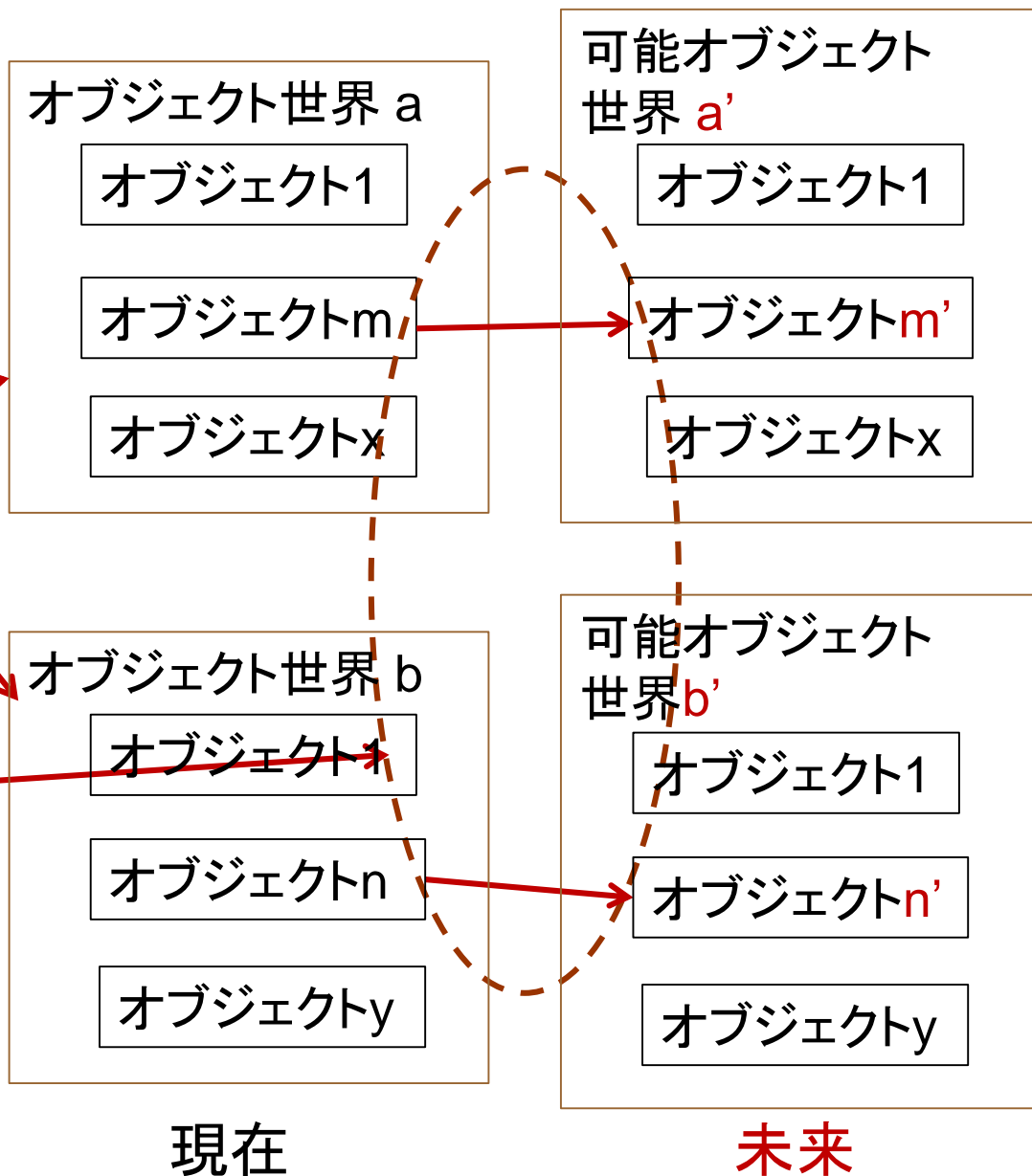


RET 33

統一原理で世界を
オブジェクトの集合
であるオブジェクト
世界に分けオブジェ
クトと属性を網羅

統一原理と基準で
選択と変更

統一原理: 層への
分割と、その層内
では同じ原理



3. 根源的網羅思考と矛盾 [TS2011,12]

1. それ自体で有用な根源的網羅思考

発見や発明が同一粒度の網羅や異なった粒度の網羅で得られる

2. 粒度と網羅の同時繰り返しサイクルを続けることが思考を深める

3. 矛盾と根源的網羅思考、これはそれ自身で矛盾である、の繰り返しの世界を変える

1 要約

1. 動物の生きるモデル 遺伝子を除く



2. 根源的網羅思考と矛盾による

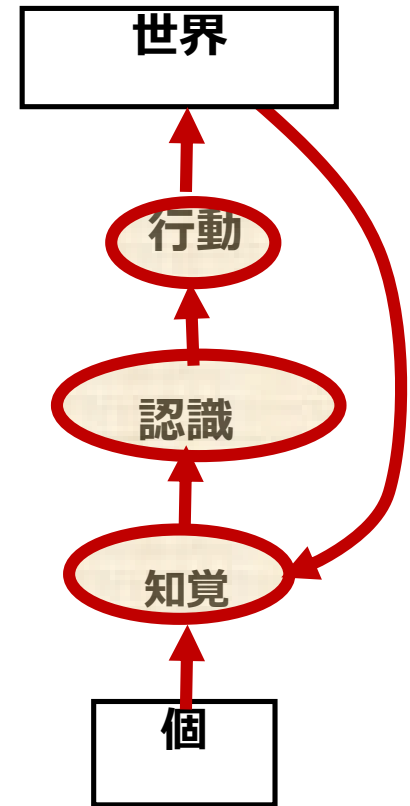
単純性とエネルギー基準の

今の人類の生きるモデル

p.10 根源的網羅思考:

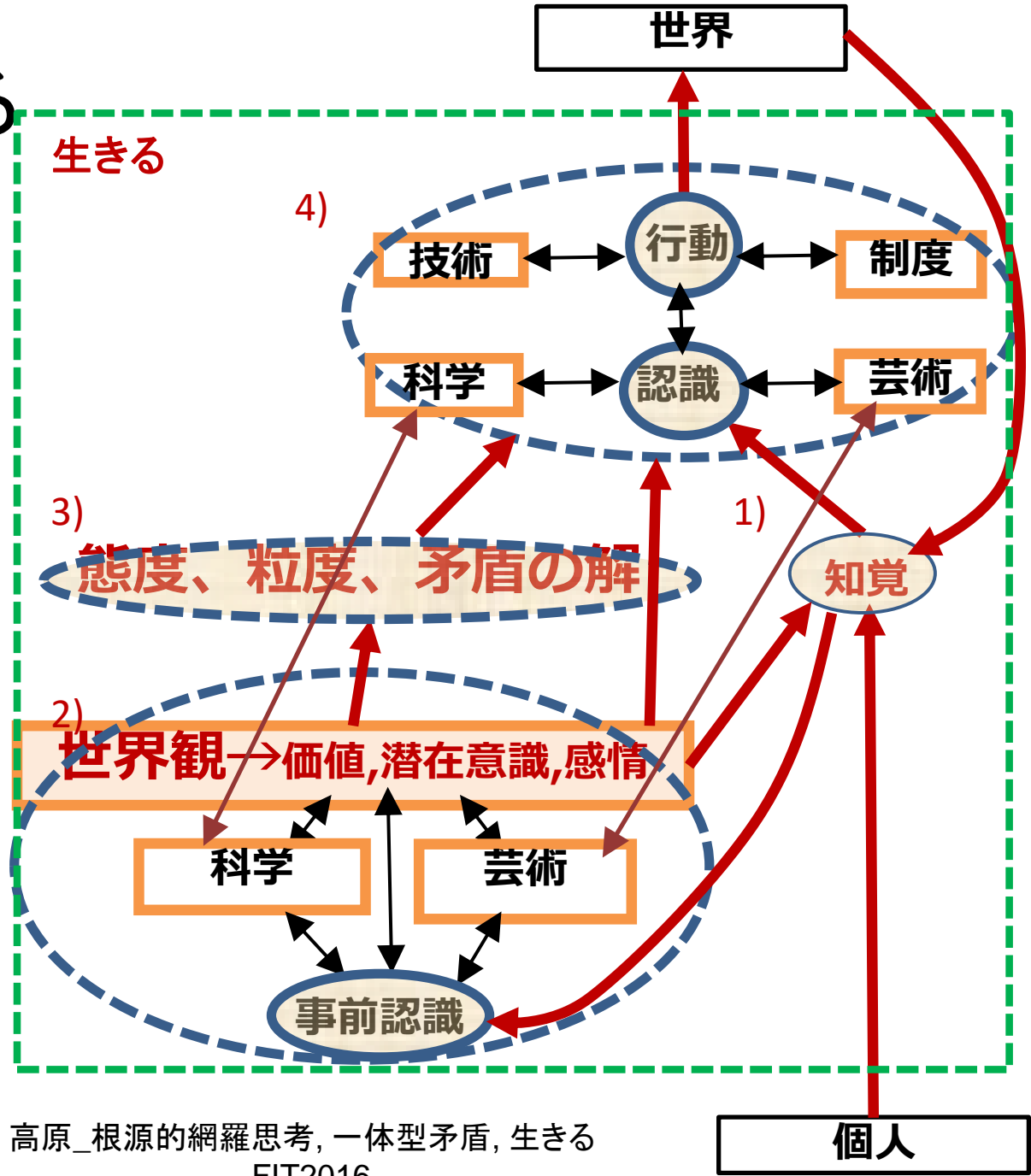
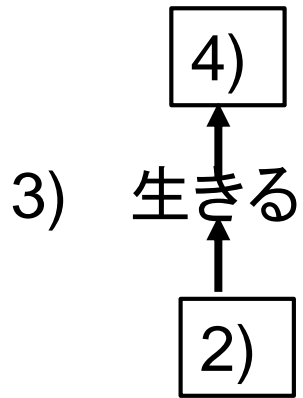
ゼロベースで 基本概念により網羅的粒度を得る思考

3. 未来への道を探る



4. 現在の生きるモデル

単純さと最小エネルギー基準の



5 知覚 1) と 生きること 3)

知覚は「無自覚な自分-関係-オブジェクト」: 特別な「項1-関係-項2」: 矛盾

生きること 3) は、「自分-関係-オブジェクト」を決めること
関係は、

1. 態度(一体化と対象化)
- ↓
2. 行動(作る, 運用)
- ↓
3. 行動の方法(既存の思考をゼロベースで変更し行動する、既存の思考を修正し行動する、変更しない)

対象化の価値は自由、一体化の価値は愛

6. 技術, 制度 4) と 世界観 2)

	操作	認識
対象化手段	技術	科学
一体化手段	制度	芸術

第一次の農業革命では、太陽エネルギーに気付きそれを利用した。
第二次の産業革命では、化石エネルギーに気付きそれを利用した。

農業革命とともに始まった時代は、自然と神への一体化世界観の誕生とともに進んでいく。しかし、一体化世界観は十分には実現できなかった。

産業革命、資本主義とともに始まった時代は、オブジェクトを効率的に変更する対象化世界観とともに進んでいく。それは、一体化における謙虚さと愛が不十分という条件の下で進行していく。

7. 今日と未来

我々が直面しているのは、新しいエネルギー開発とそのエネルギーに適合したポスト資本主義という制度革命を同時に行う第三次革命である。

ポスト資本主義は、一方向でない一体化と対象化、謙虚さと批判、愛と自由を統合した世界観とともに実現される。各々のこれらの片項は、それぞれ、第一次と第二次の革命の世界観の不十分な要素だった

8. 二つの結論

1. **第一の結論は、思考の形式に関するものである。**

殆ど全ての人が粒度に無意識である。根源的網羅思考RETが必要である。

描いた像は「もしあるとすれば、こういう形になる」というものである。これは、「工学的思考」だと思う。

2. **第二の結論は、内容に関するものである。**

本稿の方向が、一体化と対象化、謙虚さと批判、愛と自由を体現した「個」を確立する。これが、新しい真理、新しい価値を発見し続け、価値を高め続ける。

一連の流れは、**一体化と対象化という手段が最小エネルギーという目的を満たすことを示す**

謝辞

大阪学院大学名誉教授中川徹博士
Ellen Domb博士、
Shahid Saleem A. Arshad博士
に深く感謝を申し上げる